

新年度がスタートしましたが、これを読んで下さる方々も新しい生活が順調に滑り出したものと思っています。6年生になった人が多いのかもしれませんが。入学した頃に思っていた通りの6年生になっていますか？

さて、当院でも8名の新研修医の先生を採用し、5名のたすき掛けの先生が来てくれたので、13名の仲間が加わりました。先週は種々のオリエンテーションがあり、今週からそれぞれの研修先に分かれて勤務が始まりました。

実は私の勤務する救急科は既に土日から勤務に組み込まれ、一足早く臨床に出ております。私も週末に日直当番でしたが、重症の外傷や幾つかの内科疾患、また帰宅はできましたが骨折の症例などいろいろ見てもらいました。まだ見るだけが精一杯でしたが、今後は自分で考えて診察も検査も行わなくてはなりません。何事も最初の一步からですね。

先週のオリエンテーションでは恒例の縫合やシーネ固定の練習をしてもらいましたが、早速その実践がなされておりました。アジャイル型研修といえば格好良く聞こえますが、泥縄とも。三角巾は上手に使用しておりました。

練習と言えば、なんと言っても静脈路確保、場数を踏まないとうまくはならないと思いますが、2年目の先生が指導役になってお互いで練習をする機会を作ってくれました。ちょっと顔を出しただけなので詳細は分からなかったのですが、上手にできたのでしょうか。

皮膚はスパッと抜いて、針は常に真っすぐ、できるだけ浅い角度で進めるのが良いと思いますよ。

針刺し事故には気を付けましょう。30年ちょっとで2度経験があります。

